

## 観光地域づくり法人(DMO)事業報告書

※ 黄色枠部分についてご記入ください。

※ 提出時期は、【毎事業年度の終了後4か月以内】となりますのでご注意ください。

### 1. 基本情報

DMO名称		鴨川観光プラットフォーム株式会社			記入対象期間	令和6年4月1日～令和7年6月30日	
DMO登録区分		登録DMO		候補DMO 登録日	記入日	令和7年7月1日	
代表者	所属組織	鴨川観光プラットフォーム株式会社	役職	代表取締役	氏名	鈴木健史	
CMO	所属組織	鴨川観光プラットフォーム株式会社	役職	DMO企画部門 主任	氏名	田村美和子	
CFO	所属組織	鴨川観光プラットフォーム株式会社	役職	取締役 事業統括	氏名	刈込信道	
記入者 (担当者) 連絡先	所属組織	鴨川観光プラットフォーム株式会社	役職	DMO企画部門長	氏名	嶋津彰一	
	TEL	04-7093-2461		E-mail	pf-office@kamotabi.co.jp		

### 2. DMOの登録要件に対する自己点検

点検項目			自己点検 結果 【選択】	(左欄で満たしていないを選択した場合) 具体的に、どのような点において 満たしていないと認識しているか
[1]	I	合意形成の仕組みにおいて、DMOが中核的立場になっている(会議体を主導する等)	満たしている	
	II	地域の多様な関係者で合意形成する仕組みを構築し、その仕組みの中に、①地域が「売り」とする観光資源の関係者、②宿泊事業者、③交通事業者、④行政が全て参画している	満たしている	
[2]	I	少なくとも、延べ宿泊者数、旅行消費額、来訪者満足度、リピーター率について継続的にデータを全て収集している(また、WEBサイトのアクセス状況、住民満足度のデータを収集していることが望ましい)	満たしている	
	II	戦略において設定するコンセプトが、地域の強みや魅力を端的かつ分かりやすく表現している	満たしている	
	III	誘客マーケットに関するターゲット設定について、収集したデータの分析結果に基づいて設定している	満たしている	
	IV	上記[2] I～IIIを踏まえた適切な項目及び目標数値のKPIが設定されている(延べ宿泊者数、旅行消費額、来訪者満足度、リピーター率の4項目は必須とし、地域の実情に応じた適切な年次、目標数値、伸び率等が設定されている)	満たしている	
	V	戦略の策定状況、KPIの達成状況、PDCAの実施状況について毎年評価・分析した上で、資料を作成し、書面により関係者と共有している	満たしている	
	VI	PDCAの実施に際して、上記[2] Vの評価・分析に基づき、必要に応じて計画の見直しを行っている	満たしている	
[3]	I	地域社会とのコミュニケーションを確保するために、地域住民を含めた関係者に対して、観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進のための取組を実施している(広域連携DMO及び単独都府県の地域連携DMOを除く)	満たしている	
	II	上記[3] Iとして、DMOにおいて自らの活動の意義・内容・成果、KPIの達成状況や観光地域づくりの取組による地域経済・社会の変化の分析結果等を記載した資料を作成し、書面により関係者に説明・共有している	満たしている	
	III	戦略の共有を行う際には、その戦略に照らして、地域の多様な関係者が参画し、DMOが主導する合意形成の場において、地域における取組の不足や重複等の調整を定期的に行っている	満たしている	
	IV	戦略を踏まえ、観光資源の磨き上げや地域が観光客に提供するサービスの品質管理・向上・評価が実施される仕組みや体制が構築されている	満たしている	
	V	情報発信・プロモーションについては、戦略に基づいて、DMO及び地域の多様な関係者が協働し、一元的かつ効率的に行っている	満たしている	
[4]	I	DMOが法人格を取得している	満たしている	
	II	DMOの業績について対外的に説明責任を果たすため、最終的な責任者が明確化されている	満たしている	
	III	データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者(CMO:チーフ・マーケティング・オフィサー)が専従で最低一名存在している	満たしている	
	IV	DMOの持続可能な運営のため、運営収支や安定的な運営資金の確保に関する財務責任者(CFO:チーフ・フィナンシャル・オフィサー)を設置している	満たしている	
[5]	I	安定的かつ多様な運営資金を確保する手段として、特定財源(宿泊税・入湯税等の地方税、負担金)、自治体からの受託事業、収益事業、会費等が考えられるが、これらの財源を確保できる見通しがある	満たしている	
	II	運営資金のうち、行政からの支出による財源(補助金等)が過半を占めている場合は、自主財源の確保について関係自治体と共に具体的な検討が行われている	満たしている	

### 3. 具体的な取組状況

**(記入上の留意点)**

- ※ 形成計画の記載内容に基づき、実際に取り組んだ実績や成果をご記載ください。
- ※ いつ取組を行ったのか、具体的な時期(実施日)を記載いただきますようお願いいたします。
- ※ 途中段階の取組であっても、どこまで達成できたのか、いつ達成する見込みなのかをなるべく詳細にご記載ください。

#### (1)DMOを中心として観光地域づくりを行うことについての多様な関係者との合意形成について

**【関連する点検項目】**

[1] I. 合意形成の仕組みにおいて、DMOが中核的立場になっている(会議体を主導する等)

合意形成の仕組みとして位置づけている会議体の名称(例:理事会、協議会等)	評議委員会
上記合意形成の仕組みの概略(例:DMOの役割、行政やその他構成員の役割分担等)	観光地域づくり法人「鴨川観光プラットフォーム株式会社」は、(一社)鴨川市観光協会をはじめ、鴨川市商工会や旅館組合などの関連団体に加えて、体験・交流事業団体など多様な民間事業者が参画し、密接に連携した運営を実施している。 具体的には、上記関連団体のほか、宿泊事業者、体験事業者、交通事業者、金融機関、市民活動団体など計19団体が参加し、本法人が事務局を務める評議委員会を設立し、ワーキンググループとして活動している。年に4回開催している評議委員会は、本法人の事業内容について説明し戦略を共有するほか、地域の関係者から幅広く意見を伺い、事業推進のための合意形成機関としての役割を果たしている。 さらには、弊社が着地型旅行商品を造成・実施する際や、国内外からの教育旅行等を受け入れの際には、宿泊事業者・交通事業者・体験事業者・農業事業者・加工品製造事業者・医療機関などと、事業ごとに連携体制を取っている。
直近1年間における開催実績と参加人数 ※開催していない場合は、その理由と今後の見通しを記載すること。	令和6年度4回委員会を開催(18団体) ・令和6年 4月16日 9団体 14名参加 ・令和6年 7月16日 5団体 10名参加 ・令和6年11月19日 10団体 15名参加 ・令和7年 3月18日 9団体 14名参加
上記合意形成の仕組みとなる会議体以外の設置状況・開催実績について、ご記入ください。(例:分科会、ワーキンググループ、実務担当者会議等)	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 行政や関連団体の実務担当者間で随時報告や打合せを行い、合意形成を図りながら事業を推進している。</li> <li>2 市民に取り組んでいる事業の理解を図るため、各種情報を自社サイトに掲載するほか地元紙に投稿している。</li> <li>3 市内で実施される各種イベントの実行委員会などに参加し、情報共有を図っているほか情報発信を行っている。</li> <li>4 日本観光振興協会主催の観光地域診断ツール「DestinationNEXT」を活用した現状分析調査を実施し、合意形成のための参考材料とした。</li> <li>5 上記協会主催の「DestinationNEXT」の結果をベースに課題解決策を検討する「D-NEXTフォーラム」に参加し、合意形成のための参考材料とした。</li> </ol>	

**【関連する点検項目】**

[1] II. 地域の多様な関係者で合意形成する仕組みを構築し、その仕組みの中に、①地域が「売り」とする観光資源の関係者、②宿泊事業者、③交通事業者、④行政 が全て参画している

上記合意形成の仕組みとなる会議体における構成員のうち、以下の①～④に該当する関係者の組織・団体名を全て挙げてください。 ※会議体の最新版の構成員名簿を添付すること。 ※関係者がいない場合には、その理由を明記すること。	
①地域が売りとする観光資源の関係者(文化財、国立公園、農泊、アクティビティ、農林水産業、商工業等)	(一社)鴨川市観光協会、(一社)鴨川市商工会、NPO法人大山千枚田保存会、小湊妙の浦遊覧船協業組合 (一社)鴨川市農林業体験交流協会、(一社)ウェルネススポーツ鴨川、鴨川市スポーツ協会 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院、株式会社良品計画 無印良品みんなみの里
②宿泊事業者(旅館、ホテル等)	鴨川温泉旅館業協同組合、鴨川ペンション組合、鴨川農家民泊組合
③交通事業者(鉄道、バス、タクシー等)	東日本旅客鉄道(株)、日東交通(株)、(有)鴨川タクシー
④行政	鴨川市役所

**(2)各種データ等の継続的な収集・分析、データ等に基づく明確なコンセプトに基づいた戦略(ブランディング)の策定、KPIの設定・PDCAサイクルの確立**

**【関連する点検項目】**

- [2]Ⅰ. 少なくとも、延べ宿泊者数、旅行消費額、来訪者満足度、リピーター率について継続的にデータを全て収集している(また、WEBサイトのアクセス状況、住民満足度のデータを収集していることが望ましい)
- [2]Ⅱ. 戦略において設定するコンセプトが、地域の強みや魅力を端的かつ分かりやすく表現している
- [2]Ⅲ. 誘客マーケットに関するターゲット設定について、収集したデータの分析結果に基づいて設定している
- [2]Ⅳ. 上記[2]Ⅰ～Ⅲを踏まえた適切な項目及び目標数値のKPIが設定されている(延べ宿泊者数、旅行消費額、来訪者満足度、リピーター率の4項目は必須とし、地域の実情に応じた適切な年次、目標数値、伸び率等が設定されている)

KPIの達成状況についてご記入ください。 ※過去3年間、今後3年間分を記入すること。													
項目 【単位】		2022(R4)年度		2023(R5)年度		2024(R6)年度		2025(R7)年度		2026(R8)年度		2027(R9)年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
<b>必須KPI</b>													
①-1 旅行消費額 (総額) 【百万円】	全体	25,000	31,093	27,000	38,422	40,000	40,083	41,500		43,000		44,500	
	インバウンド												
①-2 旅行消費額 (一人当たり単価) 【円】	全体		12,269		14,276		14,582	14,900		15,200		15,500	
	インバウンド												
直近のKPI達成状況に対する分析		コロナ禍による観光入込客数の落ち込みが回復基調に転じるとともに、一人当たり単価の上昇は観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業に取り組んだ成果が現れつつあるものとする。											
②延べ宿泊者数 【千人泊】	全体	550	718	650	774	800	769	830		860		890	
	インバウンド	2.5	0.8	2.0	3.8	4.0	6.8	4.5		5.0		5.5	
直近のKPI達成状況に対する分析		一昨年末まで継続していたコロナ禍後の景気対策事業が終了となったこと、大規模な宿泊施設の休業等があったことに伴い微減となったと考える。											
③来訪者満足度 【%】	全体	95.0	97.5	95.0	96.6	95.0	96.4	95.0		95.0		95.0	
	インバウンド												
直近のKPI達成状況に対する分析		微減となっているが、高い水準は保たれているものとする。											
④リピーター率 【%】	全体	85.0	80.5	85.0	85.2	85.0	82.0	85.0		85.0		85.0	
	インバウンド												
直近のKPI達成状況に対する分析		観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業に取り組んだ人気の宿泊施設の、工事による休業等が影響したものとする。											
<b>その他の目標</b>													
Webサイトの アクセス状況 【回】	全体	700,000	729,798	750,000	651,639	700,000	551,080	700,000		700,000		700,000	
	インバウンド												
直近のKPI達成状況に対する分析		情報収集ニーズの多様化に伴い、従来のWebサイトのほかSNSによる情報発信に注力していく必要があるものと認識している。											
住民満足度【%】			89.1	85.0	77.4	85.0	87.1	85.0		85.0		85.0	
直近のKPI達成状況に対する分析		地域住民満足度調査の結果、観光客の増加に伴う生活環境のマイナス変化の回答数をプラス変化の回答数が上回り、「住んよし、訪れてよし」の観光地域づくりに取り組んでいる成果が反映されたものとする。											
データに基づく明確なコンセプトを持った戦略策定に至るまでのプロセスや、分析方法(内部・外部環境分析、SWOT分析、STP分析、マーケティング・ミックス等)について、ご記入ください。 ※自治体が策定する観光振興計画が存在する場合は、当該計画と戦略との整合性が留意されているかも踏まえて記入すること。 ※DMOとして策定した戦略の内容が分かる資料が存在すれば、添付すること。													
1 日々最新状況の把握と分析に努め、「Webサイトのアクセス状況」などを元に情報発信を行っている。 分析材料として、①Google アナリティクス ②観光庁・県からの情報配信 ③オンライン観光産業ニュース ④地方紙 ⑤近隣地域間の共有情報などを活用している。 2 戦略策定については、事前に行政と検討のうえ評議委員会において議論するとともに、関連団体への説明、報告及び意見徴収などを行っている。 ※① 2024年アクセス状況 添付													

**【関連する点検項目】**

- [2]V. 戦略の策定状況、KPIの達成状況、PDCAの実施状況について毎年評価・分析した上で、資料を作成し、書面により関係者と共有している  
 [2]VI. PDCAの実施に際して、上記[2]Vの評価・分析に基づき、必要に応じて計画の見直しを行っている

戦略の策定状況、KPIの達成状況、PDCAの実施状況について毎年評価・分析した資料を作成し、書面により関係者に共有した実績についてご記入ください。  
 ※PDCAの実施については、評価・分析に基づいて、必要に応じて計画の見直しを行った場合は、その具体例も記入すること。  
 ※実際に共有を行った資料を添付すること。

- 1 評議委員会にて報告及び意見徴収  
 ※① 2024年度アクセス状況 添付  
 ※② 2024年度観光地域づくり法人事業報告書 添付  
 ※③ 2024年度インターネットアンケート結果 添付  
 ※④ 2024年度地域住民満足度・意識調査結果 添付  
 ※⑤ 2024年度評議委員会議事録 添付

持続可能な観光に関する国際的な認証・表彰の取得状況について

	日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)ロゴマーク【選択】	グリーン・ディスティネーションズによる認証・表彰【選択】 ※複数で表彰された場合は最上位の表彰を選択	ベスト・ツーリズム・ビレッジとしての認証【選択】	その他、持続可能な観光に関する認証制度等(自由記述)
取得状況	取得していない	いずれも受けていない	認証を受けていない	

持続可能な観光の取組の実績について、ご記入ください。(例: 観光客のマナー違反対策、事前予約制や混雑状況の可視化、ゴミの削減や環境に配慮したコンテンツ開発、観光客増加による影響に関する住民向け説明会 等)

- 1 観光事業者向けの情報配信  
 観光事業者向け情報サイト「観光産業インフォメーション」において、統計情報、セミナー情報、各調査結果などを配信している。  
 ※サイトURL : <https://kamotabiplus.jp/tourism/>
- 2 観光地域の現状分析  
 日本観光振興協会主催の観光地域診断ツール「DestinationNEXT」を活用した現状分析調査を実施した。  
**【観光地域としての強み】**  
 飲食・買い物・エンターテイメント、アウトドア体験の重要度が高いも、現状評価は低い結果に  
 健康と安全は、重要度はそれほど高くないものの高評価に  
**【観光地域としての連携】**  
 地域の働き手の確保、おもてなし文化の重要度は高いも、現状評価は低い結果に  
 地域の連携においては、観光産業の支持の評価が比較的低い結果に  
 公平性、多様性、インクルージョン、DMOの安定した十分な財源は、重要度、現状評価ともに低い結果に  
**【今後の優先的取り組みを検討】**  
 「飲食・買い物・エンターテイメント」「アウトドア体験」「観光産業の支持」「地域の働き手の確保」
- 3 課題解決策の検討  
 日本観光振興協会主催の「DestinationNEXT」の結果をベースに課題解決策を検討する「D-NEXTフォーラム」に参加した。  
 課題解決策を「D-NEXT 事例集 日本版 ver.1.0」(2025.1)に掲載している。
- 4 景観向上対策  
 観光庁補助事業「令和5年度 地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」に応募し、採択を受けて未使用施設を撤去した。
- 5 駐車場不足対策  
 安房鴨川駅最寄りの海水浴場周辺の駐車場不足解消のため、来訪客・市民各アンケート調査の分析結果を行政と共有している。
- 6 駐車場混雑対策  
 海水浴場及び隣接する駐車場に関して、混雑情報の可視化対策として市と共同で情報を配信している。

デジタル化やDXを推進するための取組の実績について、ご記入ください。

(例: CRM、DMPの導入、地域内の宿泊施設へのPMS導入支援、MaaSによる二次交通の利便性向上 等)

- 1 宿泊施設予約システム  
 導入済みである。
- 2 アンケート調査  
 自社運用サイト内に、アンケート調査の回答から回収及び集計までのシステムを構築済みである。
- 3 その他  
 シームレス決済、人流調査、体験やイベント予約システム、インバウンド向けデジタルサイネージ等の調査に向け、各事業者との面談・ミーティング及び展示会等訪問調査を実施し、長期的計画として行政とともに予算化などを検討中である。  
 また、情報配信強化に向けて、セミナー及び展示会などへ参加するなど調査を行っている。  
 ※人流調査に関しては、過去に単年度で実施済み

### (3)関係者が実施する観光関連事業と戦略の整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

#### 【関連する点検項目】

[3]Ⅰ. 地域社会とのコミュニケーションを確保するために、地域住民を含めた関係者に対して、観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進のための取組を実施している(広域連携DMO及び単独都府県の地域連携DMOを除く)

地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進のための取組の実績について、ご記入ください。  
(例:住民対象のアンケート調査、住民参加型の着地型ツアー、観光教育プログラム 等)

- 1 住民対象のアンケート調査  
住民対象のアンケート調査を継続して実施している。  
実施期間:2024年12月1日~2025年1月31日  
※④2024年度地域住民満足度・意識調査結果 添付
- 2 教育旅行受け入れのための説明会  
教育旅行に伴う農家民泊及び日帰り農業体験の受け入れのための、対象農家への説明会を年に複数回行っている。  
また、教育旅行に伴う学校交流受け入れのための、市内小中学校校長への説明会を行った。

#### 【関連する点検項目】

[3]Ⅱ. 上記[3]Ⅰとして、DMOにおいて自らの活動の意義・内容・成果、KPIの達成状況や観光地域づくりの取組による地域経済・社会の変化の分析結果等を記載した資料を作成し、書面により関係者に説明・共有している

DMOの活動の意義・内容・成果、KPIの達成状況やDMOの取組による地域経済・社会の変化の分析結果等を記載した資料を作成し、書面により地域住民も含めた関係者に対して説明・共有を行った実績について、ご記入ください。  
(例:地域住民向け説明会、DMOの取組を紹介する広報誌・アニュアルレポートの作成 等)  
※実際に説明・共有を行った資料も添付すること。

- 1 地域住民満足度・意識調査  
自社運営サイト「カモ旅Plus」内の観光産業インフォメーションにおいて、アンケートの募集及び集計結果を掲載している。  
  
掲載サイト: <https://kamotabi.jp/news/detail/487>  
※④2024年度地域住民満足度・意識調査結果 添付
- 2 観光客来訪者調査  
ポスター及びチラシを作成のうえアンケートを収集し、自社運営サイト「カモ旅」において集計結果を掲載している。  
実施期間:2024年7月21日~2025年1月15日

掲載サイト:<https://kamotabi.jp/news/detail/480>

#### 【関連する点検項目】

[3]Ⅲ. 戦略の共有を行う際には、その戦略に照らして、地域の多様な関係者が参画し、DMOが主導する合意形成の場において、地域における取組の不足や重複等の調整を定期的に行っている

戦略の共有に照らし合わせて、地域の多様な関係者が参画する合意形成の場において、地域における取組の不足や重複等の調整を行った実績や具体例について、ご記入ください。

- 1 評議委員会(年間4回開催)において戦略を報告のうえ、意見徴収及び疑問点や問題点等の洗い出しなどを行っている。  
※⑤2024年度評議委員会議事録 添付

#### 【関連する点検項目】

[3]Ⅳ. 戦略を踏まえ、観光資源の磨き上げや地域が観光客に提供するサービスの品質管理・向上・評価が実施される仕組みや体制が構築されている

観光資源の磨き上げや受入環境の整備等の着地整備の取組の実績について、ご記入ください。  
(例:着地型旅行商品の造成・販売、域内交通を含む交通アクセスの整備に係る調整、多言語表記 等)

- 1 観光資源の磨き上げ
  - (1)観光庁補助事業を活用し、モニターツアーを実施した(令和5年11月18日~令和5年12月1日・うち1泊2日で3回)
  - (2)JR東日本と協力し、市内回遊を目的としたウォーキングイベントを開催した(令和6年1月11日~16日)
- 2 着地型旅行商品の造成・販売
  - (1)インバウンド宿泊者向けタクシーツアープランを交通会社と企画造成した。
    - ①夜の野生動物鑑賞観光タクシープラン(令和5年7月1日~令和6年2月28日)
    - ②魚見塚展望台 夜景と星空観賞観光タクシープラン(令和5年7月1日~令和6年2月28日)
    - ③棚田のあかり鑑賞観光タクシープラン(令和5年10月21日~令和5年12月24日)
  - (2)夏季限定でタクシープランを交通会社と企画造成した。
    - ①ホテル観賞 観光タクシープラン(令和5年7月1日~令和5年8月31日)
    - ②夜の昆虫採集 観光タクシープラン(令和5年7月1日~令和5年8月31日)
    - ③天津小湊連夜の花火鑑賞 観光タクシープラン(令和5年7月1日~令和5年8月31日)
- 3 受入環境の整備
  - (1)観光庁補助事業:2021、2022、2023年「宿泊・観光施設の高付加価値化事業」の地域代表団体として事業を推進した。
  - (2)観光施設・駐車場の維持管理:太海フラワー磯釣りセンター運営及び駐車場の維持管理を行った。

観光客に提供するサービスの品質管理・向上・評価が実施される仕組みや体制のための取組の実績について、ご記入ください。  
(例:品質保証制度、OTAの活用、人材育成研修、CRMによるマーケティング 等)

- 1 インターネットアンケート調査の実施  
行政と分析結果共有のうえ評議委員会において報告し、アンケート結果の地域全体での有効活用に向けて、ウェブサイト上で観光事業者及び市民にも公開している。  
実施期間：2024年7月21日～2024年1月15日
- 2 日本観光振興協会主催の観光地域診断ツールDestinationNEXTを活用した調査を実施した。
- 3 観光関連事業者向け情報サイト「観光産業インフォメーション」の運営：2024年度63本の情報を配信した。
- 4 評議委員会の開催  
弊社では合意形成のための仕組みとして、(一社)鴨川市観光協会をはじめ、鴨川市商工会、宿泊事業者、体験事業者、交通事業者、金融機関、市民活動団体など計19団体が参加する評議委員会を組織しているが、年に4回開催している会議では自由意見も求め、観光資源の磨き上げや地域が観光客に提供するサービスの品質管理・向上・評価などに関する意見を聴取する機会としている。  
令和6年度4回委員会を開催
  - ・令和6年4月16日 9団体 14名参加
  - ・令和6年7月16日 5団体 10名参加
  - ・令和6年11月19日 10団体 15名参加
  - ・令和7年3月18日 9団体 14名参加

**【関連する点検項目】**

**【3】V. 情報発信・プロモーションについては、戦略に基づいて、DMO及び地域の多様な関係者が協働し、一元的かつ効率的に行っている**

情報発信・プロモーションに係る取組の実績について、ご記入ください。  
 (例: ワンストップ窓口の整備、ターゲット別のプロモーション方針の作成、SNS発信、観光案内所のサービス維持・向上、トップセールス 等)

- 1 観光情報の配信
  - ※① 2024年アクセス状況資料添付
- 2 SNSの配信
  - X(旧 Twitter) フォロワー 1,634人 Facebook フォロワー 1,948人 Instagram フォロワー 2,059人
  - Youtube チャンネル登録者数 368人 LINE 友達 167人
- 3 プロモーション事業
  - プロモーション用冊子(鴨川市総合パンフレット) 観光ポスター及び観光PR用ノベルティの作成
- 4 マーケティング事業
  - 観光入込客数調査実施
- 5 観光情報紙発行
  - 観光情報紙の発行

一元的かつ効率的に情報発信・プロモーションを実行するための、DMOと地域の多様な関係者(自治体・民間事業者等)との役割分担について、ご記入ください。

- 1 鴨川市役所
  - 収集した情報を弊社と共有のうえ、配信時期や方法を調整する。
- 2 市内事業者
  - 最新の観光情報やイベント情報などに関して、弊社宛てに情報を提供する。
  - 観光入込客数調査のため、定期的に情報を弊社宛て報告する。
- 3 DMO(弊社)
  - オンライン観光産業ニュース、地方紙、隣接地域間の共有情報等アンテナを張り巡らせ、幅広い情報を取材し収集する。
  - 収集した情報を集約し、観光客に届きやすい形に加工し、適切なタイミングと対象サイトで配信する。
- 4 評議委員会
  - 弊社で収集・分析した情報等に関して、所属団体事業者として、又、市民目線など幅広い角度から意見や改善策等を提唱して頂く。
  - 各事業者(団体)として、共有すべき情報や今後の計画・予定等を会議時に報告頂き、地域連携に繋げる。

DMOが運営・管理を行っている地域サイトについて(ない場合は「なし」と記入)

- 1 旅マエ情報サイト「カモ旅」  
<https://kamotabi.jp/> (宿泊予約や海水浴場混雑情報配信機能もあり)
- 2 旅ナカ情報サイト「カモ旅Plus」  
<https://kamotabiplus.jp/>
- 3 インバウンド向け情報サイト「visitkamogawa」  
<https://visitkamogawa.com/>
- 4 観光事業者向け情報サイト「観光産業インフォメーション」  
<https://kamotabiplus.jp/tourism/>

上記地域サイトが以下に該当する場合はチェックをつけてください。

(a)地域全体を包括している※1	<input checked="" type="checkbox"/>	(b)宿泊、体験・アクティビティ、飲食に係る情報を掲載している※2	<input checked="" type="checkbox"/>	(c)宿泊及び体験・アクティビティについて、サイト内で予約から決済まで一気通貫に行える状態になっている	<input type="checkbox"/>
(d)宿泊及び体験・アクティビティについて、他予約サイトへ遷移した上で予約・決済が可能な状態になっている※3	<input type="checkbox"/>	(e)ターゲットに即した言語※4で(a)、(b)、(c)を満たしている	<input type="checkbox"/>	(f)ターゲットに即した言語で、宿泊及び体験・アクティビティについて、サイト内或いは他予約サイトへ遷移した上で予約・決済が可能な状態になっている※5	<input type="checkbox"/>

※1 地域サイトにおいて、地域内の主要な各エリアの情報を1つ以上掲載している状態を指す。  
 ※2 地域サイトにおいて、※1の主要な各エリアにおける各情報(①宿泊、②体験・アクティビティ、③飲食)をそれぞれ1つ以上掲載している状態を指す。  
 ※3 OTA等の該当施設等の予約画面まで直接遷移するリンクを掲載している状態を指す。  
 OTA等のリンクを掲載するのみで当該施設の予約画面まで直接遷移しないものは含まないこととする。  
 ※4 戦略においてターゲットと設定している国の言語対応を指す。  
 ※5 ターゲットに即した言語で自地域のウェブサイト内で予約から決済まで一気通貫に行える状態、又は、その国の旅行者が主に使用しているOTA等の該当施設等の予約画面まで直接遷移するリンクを掲載している状態を指す。

**(4) 安定的な運営資金の確保**

**【関連する点検項目】**

**【5】I. 安定的かつ多様な運営資金を確保する手段として、特定財源(宿泊税・入湯税等の地方税・負担金)、自治体からの受託事業、収益事業、会費等が考えられるが、これらの財源を確保できる見通しがある**

自主財源(特定財源、自治体からの受託事業(指定管理者制度、ふるさと納税等)、収益事業(旅行商品の造成・販売等)、会費等)の更なる確保に向けた今後の見通しについて、ご記入ください。

第2種旅行業の資格を有する弊社では、地域の観光関連事業者と連携した着地型旅行商品(ふるさと納税返礼品としての宿泊券や観光券)の造成・販売、農家民泊や市内の体験プログラムを活用した教育旅行、研修旅行等の受入れなどを通じて、事業売上や手数料収入を得るほか、鴨川市のふるさと納税業務及び委託事業収入を、自律的・継続的な活動資金として確保している。  
 さらに、千葉県並びに鴨川市が導入に向けて準備を進めている宿泊税について、当該法人の自律的・継続的な活動資金として確保することを目指し、県並びに市との協議を行っていく。

**【関連する点検項目】**

**【5】II. 運営資金のうち、行政からの支出による財源(補助金等)が過半を占めている場合は、自主財源の確保について関係自治体と共に具体的な検討が行われている**

運営資金のうち行政からの支出による財源が過半を占めている場合は、自主財源の確保について関係自治体と共に検討を行ってきた実績や協議内容についてご記入ください。  
 ※自主財源の確保に向けて、具体的な行動計画を策定していれば、その内容についても触れること。

運営資金のうち行政からの支出による財源は、2024年度実績で15.4%

#### (5) その他特記事項

- 1 行政からの業務委託による観光入込客数調査を本年で実施し、結果を市と共有のうえ観光情報の配信などに活用している。
- 2 日本観光振興協会主催の観光地域診断ツール「DestinationNEXT」を活用した現状分析調査を実施した。
- 3 日本観光振興協会主催の「DestinationNEXT」の結果をベースに課題解決策を検討する「D-NEXTフォーラム」に参加した。  
課題解決策を「D-NEXT 事例集 日本版 ver.1.0」(2025.1)に掲載している。  
※⑥ 「D-NEXT 事例集 日本版 ver.1.0」添付

#### 4. 次年度(次期)の事業計画の概要

- 1 安定財源の確保に向けた検討を行う。
- 2 継続的な事業の活性化、事業部門と連携したマーケティングや着地型コンテンツを含めた観光商品・サービスの開発・販売・PRに係る業務全体を担う。
- 3 新たな販路拡大、事業資金の確保に向けて、国県の受託事業・補助事業の活用を図る。
- 4 観光地として南房総地区全体の魅力向上を見据え、近隣自治体や観光関連団体との連携強化による面的情報発信を進める。
- 5 地域内のDMOや行政・団体と協力して情報充実に努め、地域内滞在時間の延長を図る。
- 6 観光DX取組に向け、各地域事例等含め情報収集及び検討を継続する。  
※⑦ 令和7年度事業計画書 添付

#### ※外部組織等によるDMOの事業や予算に対する検証の仕組みについて

外部組織等による検証の有無	有	検証時期(有の場合)	毎年4月、7月、10月、1月頃
検証方法(有の場合)	観光地域づくり法人の合意形成団体として設置された評議委員会において、年間4回の会議を開き、事業の進捗状況やKPIの達成状況について随時報告し、各所属の団体及び個人として改善提案並びに今後の方向性について意見を頂き検証を行っている。		
外部組織等の参画者(有の場合)	評議委員会(市内20団体) (一社)鴨川市観光協会、(一社)鴨川市商工会、鴨川温泉旅館業協同組合、NPO法人大山千枚田保存会 (一社)ウェルネススポーツ鴨川、(一社)鴨川市農林業体験交流協会、小湊妙の浦遊覧船協業組合 鴨川ペンション組合、JR安房鴨川駅、日東交通(株)鴨川営業所、(有)鴨川タクシー、千葉銀行鴨川支店 (株)良品計画みんなみの里、医療法人鉄蕉会亀田総合病院、鴨川市スポーツ協会、安房農業協同組合 鴨川農家民泊組合、鴨川を住みよい街にする会、(有)房州日日新聞社、鴨川市役所		
検証結果の公表の有無(有の場合)	有	公表方法(有の場合)	議事録の開示